



■ 京都検定対策委員会



「京都検定対策委員会」・・・会員の皆様には馴染みが薄いかも知れませんが、都草発足時から活動している委員会です。当初は「模擬試験委員会」という名前で、京都検定1級向けの模擬試験を行っていましたが（1年目は2・3級向けの模擬試験も開催）、次第に活動範囲が広がり、数年前に「京都検定対策委員会」と改称しました。現在の活動の大きな柱は、もちろん1級を目指す方を対象とした模擬試験の開催ですが、今年で9回目を迎えました。その他には、過去の模擬試験問題の解説集の作成や、3年前からは京都新聞文化センター主催の「京都検定 試験対策講習会1級合格特別コース」の講師もしています。また、ある企業の社員研修の講師も務めています（都草の会員も聴講）。これまでには、同志社大学の運営する町家で講習会を開いたり、京都に関する問題（簡単な解説を加えて）を足掛け2年にわたり、携帯サイトに毎日提供したこともあります。これまでに作成した問題は、2000題を超えますが、都草らしいと思っただけの質の高い問題になるように、またできる限り問題が重複しないように腐心しています。しかし、京都の観光・文化は恐ろしいぐらいに奥深く、またバラエティに富んでおり、次々と新しい問題が湧き上がってきます。問題作りは実に楽しいという感じですが、これからも、会員の皆様の受験に少しでもお役に立てるように奮闘していきますので、よろしくお願い申し上げます。（副理事長 高橋 克仁）

今年で9回目を迎えました。その他には、過去の模擬試験問題の解説集の作成や、3年前からは京都新聞文化センター主催の「京都検定 試験対策講習会1級合格特別コース」の講師もしています。また、ある企業の社員研修の講師も務めています（都草の会員も聴講）。これまでには、同志社大学の運営する町家で講習会を開いたり、京都に関する問題（簡単な解説を加えて）を足掛け2年にわたり、携帯サイトに毎日提供したこともあります。これまでに作成した問題は、2000題を超えますが、都草らしいと思っただけの質の高い問題になるように、またできる限り問題が重複しないように腐心しています。しかし、京都の観光・文化は恐ろしいぐらいに奥深く、またバラエティに富んでおり、次々と新しい問題が湧き上がってきます。問題作りは実に楽しいという感じですが、これからも、会員の皆様の受験に少しでもお役に立てるように奮闘していきますので、よろしくお願い申し上げます。（副理事長 高橋 克仁）

京都検定問題作成にあたって

第4回京都検定一級の試験が終わった10日後の12月20日に私は脳梗塞を発症、試験の結果はダメ、そのうえ右半分に後遺症が残りました。90分間連続して字が書けるようになったのは翌年のお盆の頃でした。都草の模擬試験を受け、京都検定一級に再挑戦しました。そして合格後、まだ後遺症が残る滑舌が悪い私を温かく迎えてくれたのが模擬試験委員会のみなさんでした。日ごと衰えていく脳みそと戦いながら「京都の出来事」を追いかけ、時事問題を担当するようになりました。新聞記事の中から京都検定に必要な記事を切りぬき、パソコンに保存、データ収集を日課にしました。最終段階では集めたデータを7項目ぐらいに分類し、整理するのに苦労しました。しかし、去年、京都国立博物館の「南山城の古寺巡礼展」が掲載され、南山城の寺院と仏像を紹介したところ、本試験で5カ寺が出題されました。「ヤッター」と同時に、受講生のみなさんにお役に立てて「ヨカッタ」と思いました。これからもいろんな視点に着目し、良問作りに励もうと思っています。（会員 吉村 哲郎）

『京都通模擬試験問題解説集(★ワンポイントアドバイス付)』の作成に取り組んで

「模擬試験はいつまで続けられるか?」「京都検定の解説集に倣って我々も記録として何か残そう!」と話し合ったことがきっかけで作成に取り組んで今年で5年目になります。気楽に始めたものの何せ素人集団です。さあ大変!作成工程は、まず原稿を分担して作り始める⇒原稿の検討会⇒編集作業(原稿整理・文字入力・校正・デザイン確認)⇒校閲⇒印刷⇒製本へと流れます。なかでも解説原稿の検討会は数日間を要し、一日中会議室にとじこもっての時間のかかる作業です。と、同時に学びを深める場ともなっています。また印刷と製本は一冊一冊手作りの眼にもつらい細かい作業なので、仕上がるとその喜びもひとしおです。今年もメンバーの力を結集した汗と努力の『京都通模擬試験問題解説集(2013年実施分)』が完成しました。(会員 西田 民子)

— 法人会員紹介「京都東急ホテル」 —

◆◇ 「サンデーウォーキングとおもてなし」 ◇◆



京都東急ホテルの「サンデーウォーキング」が始まって3年程になります。当ホテルはご存じのように、観光ガイドブックに掲載されている、いわゆる観光地からほんの少し離れた位置にあります。そこで、ご宿泊いただいたお客様に観光ガイドブックにはない、下京区のホテル周辺をご紹介する企画として「都草」様とのご縁が始まりました。

毎週日曜日の午前10時から途中コーヒープレイクを入れ、約2時間あまりのウォーキングには「都草」様とホテルのスタッフも1名同行いたします。3種類のウォーキングコースがあり、

毎週違うコースを巡ります。ブレイク中は歴史や場所の由来等、質問が矢継ぎ早に飛び交います。日本全国から、年齢層の全く違うお客様に、非常に丁寧に詳しくホテル周辺のご説明を頂き、「ウォーキングが楽しかったから」と、次の宿泊もウォーキングの日程とお気に入りのコースを考慮し、ご宿泊いただくお客様もいらっしゃいます。また、祇園祭の番外編には毎年ご参加いただいているご夫妻もいらっしゃいます。先日も京都には所用にて少しお立ち寄りされただけでご宿泊されないお客様が、わざわざホテルにお立ち寄り頂きご挨拶にお越しいただきました。「サンデーウォーキング」に参加した〇〇です、と受付であるコンシェルジュデスクにお越し下さったのです。私どもの大切なお客様の京都の楽しい思い出の1ページとなるひと時を「都草」様にご提供頂き感謝と共に、お客様への「おもてなし」のひとつとして、「サンデーウォーキング」をご案内しております。(コンシェルジュ 中野 尚美)



◆◇ 京都東急ホテルサンデーウォーキング 第3コースを担当して ◇◆



京都東急ホテルに隣接する西本願寺と東本願寺、渉成園を巡るコースです。両本願寺は親鸞聖人を宗祖とする浄土真宗の教義は同じですが、ソフト面ハード面で多くの違いが見られます。法主の呼び方、読経のリズム、伽藍の配置、本堂の畳の敷き方、柱の形状ほか・・・相違点を探してみてください。「新しい発見！」との声を頂いています。これが私のガイドとしてのスパイスです。東本願寺飛地境内である渉成園(枳殻邸)は市中の山居ともいわれ、四季折々の美しい景観が来訪者を癒してくれます。京都タワーが望める街のど真ん中にこんなに静かなスポットがあるなんて、お客様とともに京都の懐の深さを感じるひと時です。(会員 島添 道文)

◆◇ 世界文化遺産 東寺を巡る ◇◆

京都東急ホテルからお客様とともにバスと徒歩で15分、東寺(教王護国寺)に向かいます。空海(弘法大師)に下賜され、1200年の真言密教の根本道場を今日に伝えている金堂・講堂など整然とした伽藍配置をご案内、仏教文化の神髄に触れていただいています。曼荼羅を立体的に配置された仏像のお姿は、思わずため息が漏れる迫力です。四季折々美しい佇まいのお寺ですが、ことに春は五重塔をバックに妖艶な世界を醸す桜をお楽しみ頂けます。空海の命日21日の「弘法さん」や、大師堂では毎朝食事を捧げる「生身供」が今も行われていること、世界記憶遺産に登録された『東寺百合文書』に東寺の歴史が綴られていることなどを、ご案内しています。(会員 野津 隆)

